



日々の活動
発信中!

地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)
<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshikyouryokutai>



町民農園の「山幸」(10/2撮影)

用のブドウに山ブドウを交配することで誕生したのが耐寒性醸造用ブドウの「山幸」です。町ではこの「山幸」を、十勝管内池田町のご支援の下2009年から栽

培ってきました。そして、今年10月23日に弟子屈産「山幸」を100%使用したワイン「葡萄酒色の巨」が披露目になりました。何て読むの?? という方もいると思います。これは「えびいろのよあけ」と読みます。「山幸」のルーツである山ブドウの色を意味する葡萄酒色(えびいろ)に、これから弟子屈町でワイン造りが始まるという夜明けのイメージを重ね、ワイン造りが発展していく希望を込めて名付けました。

あいにくの雨模様で参加者も多くはありませんが、テニールを囲んで協力隊員の活動内容、大学生の勉強や生活の様子、弟子屈流北海道の冬の暮らし方などをおしゃべりできたかなと思っています。いずれは南弟子屈だけではなく、町内の皆さんに参加してもらえようなお茶会を作ってくれた石狩鍋はつまかったな。

協力隊通信

高木さん(右)
&
炭田さん(左)



ワイン造りを通して マチの発展に貢献したい

地域おこし協力隊の高木浩史です。弟子屈町の住人となって、早2カ月が過ぎました。この2カ月で感じたことは、季節の移り変わりが非常に早いということ。9月中旬に台風とともにこちらへやってきましたが、10月下旬には初雪(吹雪)に見舞われました。このように自然の厳しい一面も体感しましたが、それ以上に山々の紅葉、湖の雲海など、自然の美しい面も見ることができました。これからは四季の変化を楽しみたいと思っています。

しかし、ここまでの道のりは困難の連続でした。栽培を開始したころは、冬の寒さに耐え切れずに枯れる苗や、シカの被害に遭うものも多く、なかなか計画どおりに栽培が進みませんでした。栽培開始から6年が経ち、やっとワインに必要な最低限の量が確保できるようになりましたが、解決すべき課題は多く残っています。『自然の恵みが相手なので時間はかかると思いますが、葡萄酒色の巨』に込めた意味のとおり、ワイン造りはまだ始まったばかり。これからは歩みを止めないことがワイン造り、そして弟子屈町の発展につながると思っています。その発展に少しでも貢献できるよう、地域おこし協力隊としての役割を果たしていこうと思っています。



弟子屈産「山幸」を100%使用したワイン「葡萄酒色の巨」

「葡萄酒色の巨」が披露目になりました。何て読むの?? という方もいると思います。これは「えびいろのよあけ」と読みます。「山幸」のルーツである山ブドウの色を意味する葡萄酒色(えびいろ)に、これから弟子屈町でワイン造りが始まるという夜明けのイメージを重ね、ワイン造りが発展していく希望を込めて名付けました。



地域の皆さんと楽しくおしゃべり

地域おこし協力隊 炭田晃希です。11月15日に旧栄小学校で「昭栄カフェ」を開催しました。「昭栄カフェ」は今回が第1回目の開催だったので、僕たち地域おこし協力隊の活動を町民の皆さんや地域の皆さんに知ってもらおう! 堅苦しい報告会よりも、お茶を飲みながら楽しくお話ししましょう! というのが目的です。まずは、地域おこし協力隊の皆さんと楽しくおしゃべり

僕たちを知ってください
まずは一緒に話しましょう

除雪作業にご理解とご協力をお願いします

除雪作業の出動は、降雪量がおおむね10cm以上、または地吹雪、吹きだまりで交通に支障があると判断されたときに、主要幹線および通学路、集乳路線を優先的にを行います。
「吹雪、暴風雪警報発令中、および夜間」の除雪は、原則的には行いません。



□路上駐車は除雪の障害

除雪作業で最も障害になるのが、路上での駐車です。路上に放置された車のために、除雪車が通れなかったり、除雪作業ができなかったりすることがあります。

□歩道などに物を置かない

歩道や路肩に、陳列品や旗立て用のコンクリート、木材などを置いておくと、吹きだまりの原因になったり、除雪の障害にもなったりします。あらかじめ、道路から離れた場所に移動させてください。

□除雪車には気をつけて

除雪車の運転技術者は、安全第一で細心の注意を払っていますが、作業稼働時は大変危険です。特に子どもの行動には目を配り、除雪車に近づけないようにしてください。

□玄関前の雪は皆さんで

除雪車が通った後に残される、玄関前などの雪の山。後始末を考えると、誰もが憂うつになってしまいます。除雪車の機能や、広い地域を迅速に回らなければならない作業の性格から、どうしても雪を残してしまいます。大変ご苦勞をおかけしますが、各家庭や事業所で取り除いてください。

□道路に雪を捨てないで

除雪したばかりの道路に、雪を捨てるといった光景を毎年多く見かけます。この雪が凹凸を作り、交通事故を誘発する原因にもなりかねませんので、注意してください。

□消防水利に雪を捨てないで

「消防水利」と明示されたポールがある場所は、災害など緊急時の通り道になりますので、雪を捨てないでください。

これから降雪シーズンを迎え、今年もまた厳しい冬に突入です。町では、皆さんの生活や生産活動を支えるために除雪作業を行います。皆さんのご協力を得て、除雪作業をスムーズに進めることが経費抑制の上でも必要不可欠となってきますので、ご理解とご協力をお願いします。

町道除雪についての問い合わせ先/役場建設課 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 1 (課直通)
道道除雪についての問い合わせ先/釧路建設管理部弟子屈出張所 ☎ 4 8 2 - 2 1 4 7

この道一筋に精進

秋の叙勲



瑞宝単光章
(消防功勞)

村田 隆さん(74歳・鈴蘭4)

1963(昭和38)年に弟子屈消防団入団。2009年から2014年まで同副分団長を務め、消防任務の遂行と後進の指導にあたりました。この間、50年5カ月にわたり、地域や住民の生命・財産を守り続けたほか、火災予防啓発に尽力されました。

秋の褒章



藍綬褒章
(中小企業振興功績)

小澤 由明さん(71歳・南弟子屈)

1969(昭和44)年に小澤砂利を創業、1971(昭和46)年に開設建設工業を設立。1980(昭和55)年に北海道砂利工業組合に加入。釧路支所理事、同支所副支所長を経て、2009年に同組合副理事長、2013年からは理事長として、長きにわたり砂利や建設業に関わる業界の発展と後進の育成に貢献されました。

お祝いのお花束を受け取る小澤さん(右)